



悠々  
メルボルン子育て日記

1

オーストラリアのメルボルンに、私たち夫婦が移住して8年。現在は7歳と4歳の娘もいますが、日本を離れて気付いた出産・育児・教育について、皆さんにお伝えしたいことをエッセーにまとめてみました。

ビクトリア州の州都で、シドニーに次ぐ大都市。ワゲ家は市街から30分離れた所にあり、近々の自然保護区ではカンガルーの親子が群れて跳ねていることもあります。

私たちがなぜメルボルンに移住したのかというと、広大な自然と美しい海があ

## イージー・ゴーイング



無料で使える公園のバーベキュー台

## 自然と文化、自由に満喫

リ、タイトル通り、「悠々」として生活が送れるから。また、美術館・博物館・劇場が多く、緑に囲まれた街並みに文化があるからです。

オーストラリアの国民性を一言で表せば、「イージー・ゴーイング」(細かいことは気にせず、気楽にいう意味)。だから、服装・髪型にはまっていません。真冬でも、厚手のコートに履きスリッパの女性の横をスリッパの女性が見えなく、寒いと感じればスリッパというわけです。人目なんか気にして行動しません。

豊かな自然と文化を生活に取り入れ、心ゆくまで自由に満喫するのがオーストラリア人です。その一例が、週末の公園でのバーベキュー。公園にはバーベキューの台が設置され、スイッチ・ボンベが無料使用することが出来ます。家族や友人が集う楽しいひとときです。

公園にお客さんも一緒にたづねてきたと遊ばせを見えるもの。ほほほほほほです。

移民の多い多国籍国家です。から、さまざまな考えや習慣が共存しています。街を歩けばいろんな国の人や会、いろんな国の言葉が飛び交っています。日本と違ってくるなどです。

豊かな自然と文化を生活に取り入れ、心ゆくまで自由に満喫するのがオーストラリア人です。その一例が、週末の公園でのバーベキュー。公園にはバーベキューの台が設置され、スイッチ・ボンベが無料使用することが出来ます。家族や友人が集う楽しいひとときです。



しんやま・なおこ 青山学院大学大学院で教育学を専攻後、2001年からメルボルンに移住。現在は、メルボルン国際日本語学校(日本語補習校)の小学校教師を務める。夫も公立小学校の日本語教師。2女の母。

(日曜日に掲載)